

茅ヶ崎セントラルクリニック 成田朋子(看護師 / 看護部)

功 績	自身がcovid-19に感染した経験を踏まえ、自らの経験および診療記録を踏まえながら職員への勉強会を自主的に開催し、感染予防と対策について知識の共有を行った功績
推 薦 者	仙賀 裕
推 薦 理 由	同じ職場で働く仲間のために自身の経験とデータを開示し、covid-19に係るさまざまな情報を共有してくれたこと

内 容

茅ヶ崎セントラルクリニックでは1月下旬より、職員、患者さんそれぞれに新型コロナ感染者が散見されるようになり、成田自身もまた、2月1日に感染が確認されました。発症してから症状が安定せず、発症後10日目に入院することとなります。中等度と診断され、5日間の入院生活を経験した成田は、入院中、自身の症状や投与された薬、また看護師がどのような動線で動いているか、感染対策はどうしているのか、など、細かく記録を取っていきました。感染が拡大しつつあった茅ヶ崎セントラルクリニックに、これらの経験や記録を研修という形で還元しようと考え、自身の検査データや看護記録を持ち帰り、研修資料として取りまとめ、3月29日に院内研修会を開催しました。

研修会当日は看護師だけではなく、MEや事務、そして医師も集まり、全員が興味深く、また大きな関心をもって研修会に参加することができました。参加した職員からは、報道や文献などではわからなかった、患者さんご本人の気持ちと辛さ、症状だけではなく、その後の社会生活に係る動きなど普段では知ることのできない情報を得ることが出来たことから、感染後のフォローなどについても深く学ぶことが出来た、という意見や、感染を未然に防ぐにはどうしたらいいのか、行動などについても改めるきっかけになった、という意見が見受けられました。

covid-19に関する研修等は数多くありますが、感染を経験した職員が自らのデータを元に行う研修は自身の情報をオープンにすることから、なかなか出来ることではないと考えます。しかし今回、他の職員のために全てを開示し、経験を語ってくれた成田は、茅ヶ崎セントラルクリニックの他の仲間のことを何よりも第一に考えた結果、当該研修を開催してくれました。この行動は理事長賞に相応しいと考え、成田を推薦させていただきます。